



すがもがーでんの
収穫物です(*^-^*)

休館により利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしました。5月28日から段階的に図書館サービスを再開いたしました。

サービス再開にあたっては、図書館の利用を心待ちにしている方々の期待に応えるため、なるべく早期に自由に図書館を利用していただきたかったのですが、一方で利用者の皆様に安全に図書館を利用していただかなければなりません。そのため、マスクの着用や利用時間の制限などをお願いは今後も継続していかねばなりません。

ウィズコロナ。引き続き、利用者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

(館長)



じぞうくん

皆さまに、図書館に
入っていただける
こと、とっても
うれしく思っ
ています。

イラスト作 S

7月のお知らせ

「お楽しみセット」ご報告

書架に入って本をお選び
いただけなかった期間
「司書が選ぶおすすめ児童書」
を、年齢別にセットにして
貸出をしました。
期間中にお借りいただいた本は、
全部で1851冊(617セット)!!!
想像を超えた反響に、
職員一同大変うれしく思っています。

おはなし会の実施は、
少し先になってしまいますが、
これからも、皆さんに喜んで
いただける企画を実施したいと
思っていますので
楽しみにしててください。

通常開館時の予定

※状況により変更の可能性あります。

- <日曜> 新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目!
- <火曜> 第3火曜日 11時から、赤ちゃん
向けお話を開いています。
- <水曜> 毎週3時30分から、幼児から
小学生低学年向けのお話を
開いています。

編集後記

今月からようやく元通りに近い
サービスを、ご提供できるよう
になりました。
長い間ご不自由をおかけしました。
閲覧席は減ってしまいましたが、
譲り合ってのご利用、お待ちしております。
(M)

巣鴨図書館 まめ知識

すがもがーでん

桜が人気の巣鴨図書館前庭に
今年はたくさんの植物が...

巣鴨図書館の前庭は、桜とベンチが人気の
スポットです。今年は、ここで

グリーンカーテン(ゴーヤ)
なす・ミニトマト・カラーピーマン
いんげん・かぼちゃ等の野菜
ひまわり・ペチュニア等の花々

夏の暑さにも負けず、コロナにも負けず...

すくすく育ってくれることを願いながら、
日々手入れをしています。

ご来館の節には、ぜひ見てみてください!



じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式に紹介していくコーナーです。

「ハチミツ」

焼きたてのパンケーキ（私の世代は「ホットケーキ」でした。）にバターを塗ってハチミツをたっぷりかけたら、記憶の彼方にある幼い頃の幸せな風景が一瞬のうちに蘇ってきます。月に一度のぜいたくだったかどうか定かではありませんが、とにかく私はこの味が大好きでした。くまのプーさんもハチミツが大好きということを後から知って私の心の中に妙な親近感が沸き起こったことを覚えています。

時は移り、ここ数年は体型的にもプーさんへの親近感がより一層増してきた今日この頃、プーさんのように自分の好きなものに真直進んでいく素直な心は、真似するのは難しいけれどいつまでも失いたくないと改めて感じています。

そして今でも私はホットケーキ（やはりこの呼び方にこだわりたいです）にバターとたっぷりのハチミツをかけていただく習慣を大切に持っています。（H.N）

テーマに合わせた
図書館蔵書
ご紹介

お役立ち本

『プーのはちみつとり』
岩崎書店 （ミ）

『はちみつ物語』
真珠書院 （646 シ）

じぞうくんのそばくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。
心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。

朝ごはんに高級食パンを食べて、びっくりしたじぞうくん。感動のあまり、「食パン」について、調べることにしてみたいですよ。

『美味しくてびっくりしたなあ。そもそも食パンのルーツって何かな。ちょっと調べてみようかな。』

料理の本なら5類だけど、パンの歴史とか食生活の歴史だから383の棚にも行ってみよう。

まず①の本「食パン」って言葉については「型焼きの主食用のパン」という記述があるね。「明治初期に発売されたイギリスの型焼き白パンを、とくに、食パンと呼ぶようになる」ってことで、「厳密には食パンに当たる言葉はない」みたい。②の本は食パンについて、「日本独自の言葉」っていう表現もあるから、日本独自のパンだけど、ルーツは欧米の「ホワイトブレッド、ローフブレッド」ってことらしいな。さらにさかのぼると、古代メソポタミアには「型抜きパン」というのがあって、「食パンの祖先に当たるが、当時は丸い皿型が主流で」って書いてある資料③もあったよ。メソポタミア文明は滅んでしまったけど、パンを食べる食文化は、今も根付いているよね。食パンがどういうものなのか色々わかって、スッキリしたよ。スッキリしたら、お腹が空いてきたから、もう一枚、食パン食べよっと！』

じぞうくんが読んだ本はこちら

- ①『たべもの起源辞典』
東京堂出版（383 オ）
- ②『コムギの食文化を知る事典』
東京堂出版（383 コ）
- ③『図解食の歴史』
新紀元社 （383 ス）

じぞうさんぽ

＜夕暮れの京に巨大カマキリ出現！＞

「ちまきどーですかー、てぬぐいどーですかー。」
夕闇迫る京都の街角に、歌うような声が響く。2016年7月14日。今日は祇園祭の宵々々山（山鉾巡行の三日前）。各山鉾の御会所では、浴衣姿の子供たちが粽や手ぬぐい、お守り等の授与に従事している。祇園祭は一度本物を見てみたかったのだが、初心者なので今回はお試しコースだ。四条通を中心に南北に点在する山鉾は23基。今日は、これを全部見ることを目標である。

一番南の保昌山から、見た順に配置図に数字を振りながら進む。それぞれ自慢の人形や懸装品、提灯等で飾られた山鉾は、どれも甲乙つけがたい迫力だ。大通りだけでなく、商店街の狭い路地の奥にひっそり立っていたりするので油断できない。一番のお気に入りには『蟬螂山（とうろうやま）』。神様や伝説上の人物が主の他の山鉾と違い、山のてっぺんに載っているのが、巨大なカマキリのからくり人形なのだ（中国故事『蟬螂の斧』に由来）。御会所には、からくりカマキリの実物大模型が展示してあった。確にかっこいい。お子様方に大人気というのもうなずける。カマキリのデザインの提灯も可愛い。さっそく厄除け粽をいただき、次の山鉾へ。3～4時間かけてじっくり歩き回り、無事今回のミッションは終了した。

今年は残念ながら、葵祭の行列や祇園祭の山鉾巡行が中止になった。悪疫封じのお祭りが病気のために中止になるとは、あまりにも皮肉な事態だ。来年はつつがなく開催できるよう、心から祈っている。

(A)
旅のお供に
おすすめの図
書館
蔵書をご紹介

ともぼん お供本

『宵山万華鏡』
集英社 （Bモ）

『写真で見る祇園祭のすべて』
光村推古書院 （386 シ）